



NEWS RELEASE

国土交通省 近畿運輸局

国土交通省

移動等円滑化評価会議

九州分科会と

初コラボ



公共交通利用促進キャラクター のりたろう

【問い合わせ先】

近畿運輸局 交通政策部 バリアフリー推進課

(担当) 大當、清水、谷口 (電話) 06-6949-6431

九州運輸局 交通政策部 バリアフリー推進課

(担当) 末吉、永松 (電話) 092-472-2333

令和3年11月5日

～障害当事者と乗船体験及び意見交換会をおこないます～

(評価会議九州分科会・別府港 UD ターミナル推進協議会 協働事業)

【目的】

今回、移動等円滑化評価会議(※)の近畿分科会と九州分科会、別府港 UD ターミナル推進協議会が協働事業として、障害当事者との船旅体験を企画しました。

障害当事者が船旅を体験することにより、移動時のバリアの実態を確認するとともに、事業者等との意見交換をすることで、非日常的な空間である船の旅をより楽しめる方法を学びます。

【日時】令和3年11月16日(火)～17日(水) ※1泊2日(船中泊)

【主な行程】

(1日目)

14:15～JR住吉駅集合・・・15:00～順次 神戸港ターミナル見学・・・19:00 出港
(夕食、入浴、船内見学、事業者からの説明など)・・・23:00 就寝

(2日目)

6:20 大分港下船・・・(朝食)・・・9:00 九州分科会と合流し別府港ターミナル見学・・・
10:30 九州分科会と意見交換会・・・(昼食)・・・13:30 海地獄見学・・・15:55 大分空
港見学・・・18:45～大分空港発・・・19:55 伊丹空港着

※往路はフェリーさんふらわあ・復路は航空機(ANA・JAL)を使用します。

※障害当事者が旅行をする上でのバリアは何かを全行程を通して確認するとともに、施設見学や事業者等との意見交換で良い点や今後の課題などを共有します。

※九州分科会との意見交換会では乗船体験の感想などをお話します。

※海地獄では車椅子のまま入れる足湯体験をします。

【主な参加予定者】

- ・学識者
- ・障害当事者
- ・自治体



【事務局】

(近畿分科会) 近畿運輸局、近畿地方整備局、神戸運輸監理部、大阪航空局

(九州分科会) 九州運輸局、九州地方整備局

<取材について>

- ※ 今般の新型コロナウイルスの状況を踏まえ、取材については、各社最低限の人数でお願いいたします。希望される方は、別紙「申込書」を11月10日(水)15時までにFAXにてご連絡ください。
- ※ 「消毒液による手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」の徹底等の感染症予防対策のご協力をお願い申し上げます。また、発熱や風邪のような症状がある場合には、ご自身の体調を優先し、参加を控えていただきますよう、併せてお願い申し上げます。

配布先：青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ、陸運記者会(ハイタク部会)、海事関係業界

【九州運輸局】福岡金融・経済記者クラブ、運輸関係業界

(※) 移動等円滑化評価会議とは・・・

バリアフリー法において、移動等円滑化の促進のため、関係行政機関、障害者等、地方公共団体、施設設置管理者等の関係者で構成する「移動等円滑化評価会議」を設置し、移動等円滑化の進展状況を定期的に把握・評価していくことを定め、「移動等円滑化評価会議」の下部組織として、全国10のブロックにおいて分科会を設置しています。

今回、10ブロックの地域分科会のうち、近畿分科会と九州分科会が初めて協働で事業を行います。